

研究協力をお願い

昭和大学付属東病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

アルツハイマー型認知症、軽度認知障害における甲状腺機能と脳血流量の関連の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2016年3月～2017年12月に当院で神経内科物忘れ外来を受診された方

2. 研究目的・方法

アルツハイマー病(Alzheimer Disease:AD)と軽度認知機能障害(Mild Cognitive Impairment:MCI)は早期の段階で的確に診断を行い、適切な治療を行うことが課題となっています。甲状腺機能は認知機能およびADのリスクと関連しているといわれており、最近では甲状腺ホルモンとADの診断基準の参考所見である脳血流量が関連していると報告されております。そこで、本研究はもの忘れを主訴に受診した患者様のAD、MCI、正常認知機能毎に脳血流シンチグラフィと甲状腺機能の関連を調査し、これらの分析を行い、ADのリスク因子を明らかにすることを目的として計画しました。

研究期間

「医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会」承認後、昭和大学医学部長（あるいは昭和大学付属東病院 病院長）の研究実施許可を得てから2020年3月まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：診療録（年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、内服薬、教育年数）

頭部MRI、脳血流シンチグラフィ

資料：血液中の甲状腺ホルモン（TSH、fT3、fT4）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：医学部内科学講座神経内科学部門

医学部衛生学公衆衛生学講座公衆衛生学部門

氏名：野元 祥平

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8781(神経内科医局)

研究責任者：

所属 医学部内科学講座神経内科学部門

氏名：小野 賢二郎

